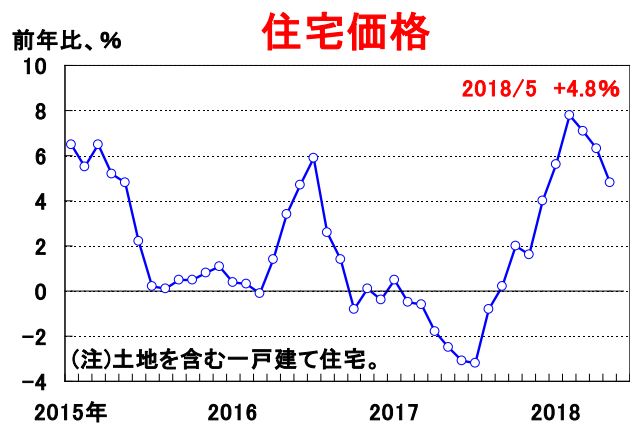
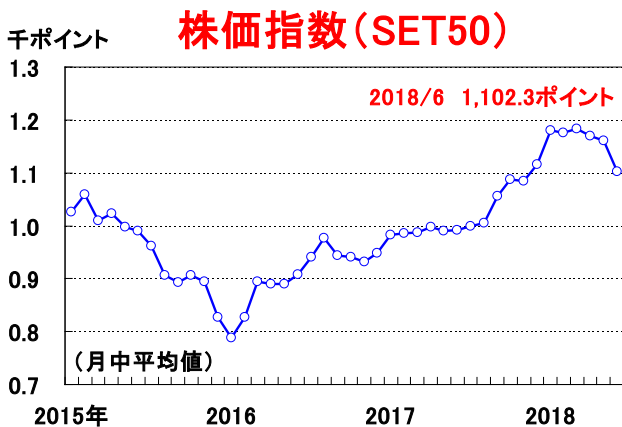
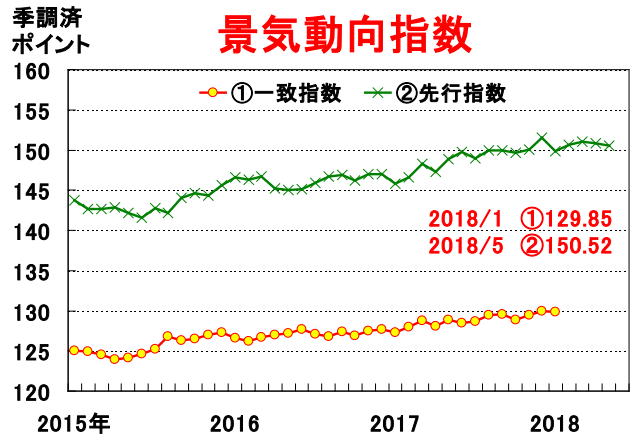
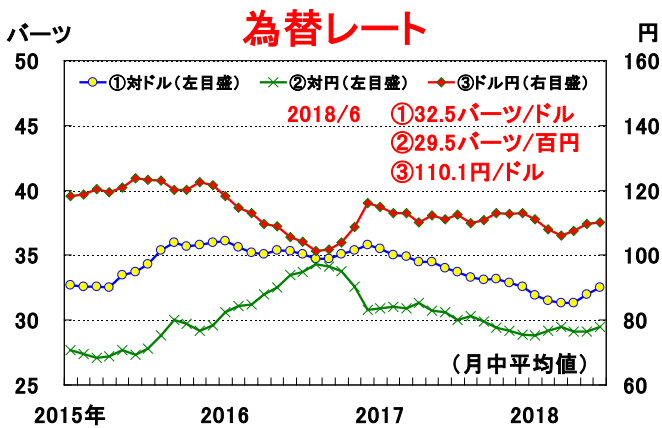
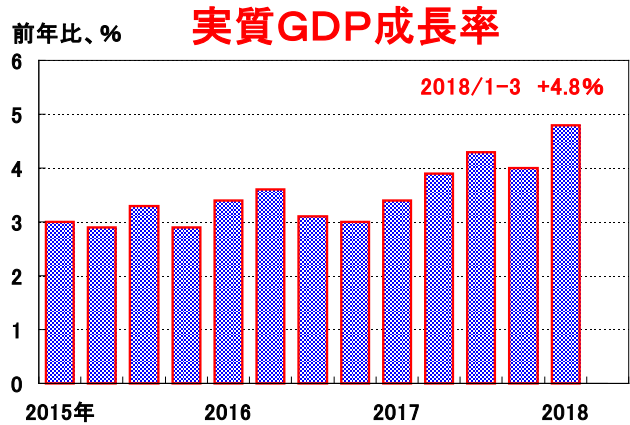
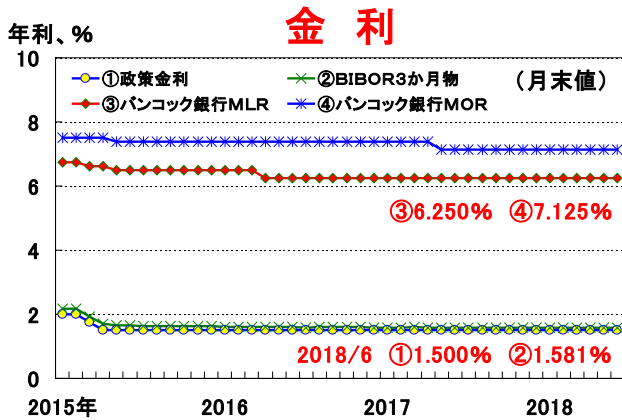


グラフで見るタイ経済 2018年7月号(No. 109)

タイ景気は回復基調にある。5月の経済指標をみると、輸出は前年比+11.4%と2か月連続で2桁の伸びを維持している。地域別の輸出をみると、米中向けが減速したものの、オーストラリア向けやマレーシア向けが増勢を強めた。主力産業の自動車の生産台数も前年比+13.9%と、国内販売の堅調な増加や輸出向けの復調を受けて、3か月ぶりの高い伸びとなった。こうした状況の下、民間投資指数は2か月連続で上昇した。家計部門も、個人消費指数が前月比+0.9%と、耐久財消費の堅調な増加などにより、5か月ぶりの高水準となった。



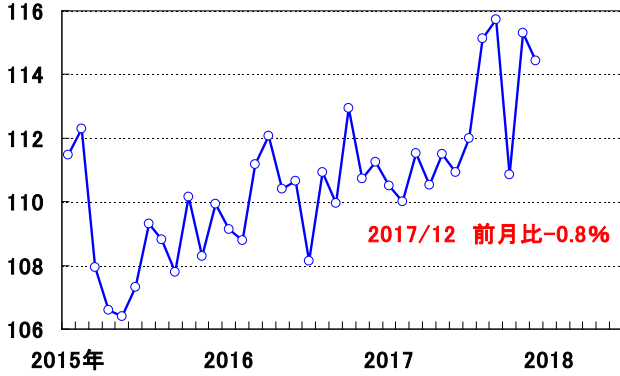
【今月のトピック:オーバーツーリズム対策のため一部観光地の立ち入りを禁止】 タイでは、観光客の増え過ぎ「オーバーツーリズム(overtourism)」が問題化している。映画のロケ地として有名となったピーピーレイ島のマヤ湾には多くの観光客が押し寄せた結果、大部分のサンゴ礁が消え、海の生態系に多大な被害が発生した。タイ国立公園局では、地域の生態系の回復を図るため、今年の6月から4か月間、同地区への観光客の立ち入りを禁止する措置を導入した。一方、5月にタイ政府当局はチェンマイとプーケットに新空港を建設するプロジェクトを認可しており、引き続き観光産業を後押しする姿勢を堅持している。

(出所) タイ中央銀行、タイ国家経済社会開発委員会 (NESDB)、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

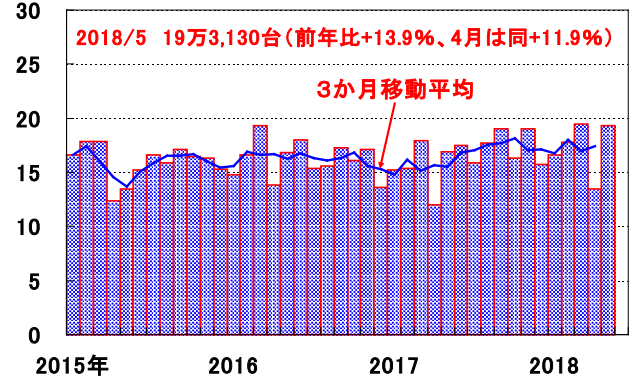
季調済
2000年=100

工業生産指数

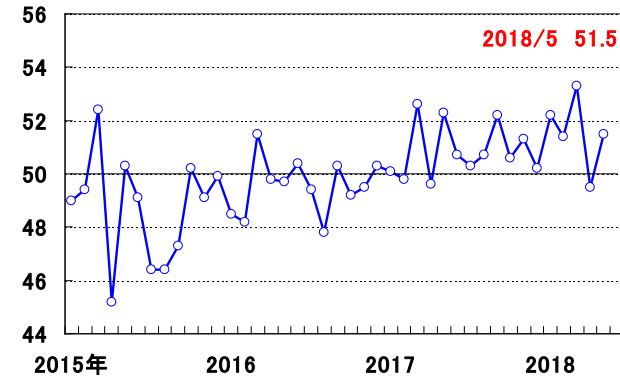


万台

自動車生産台数

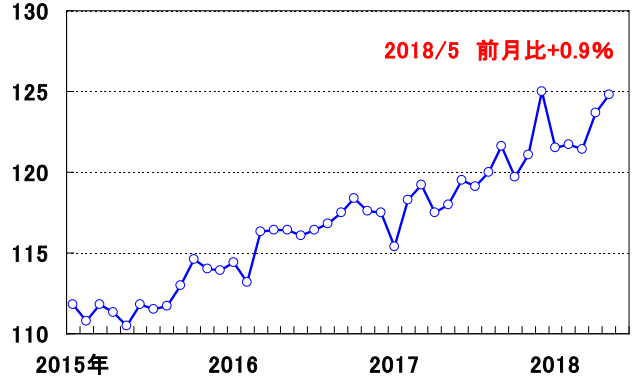


中立水準=50 企業景況指数(BSI)



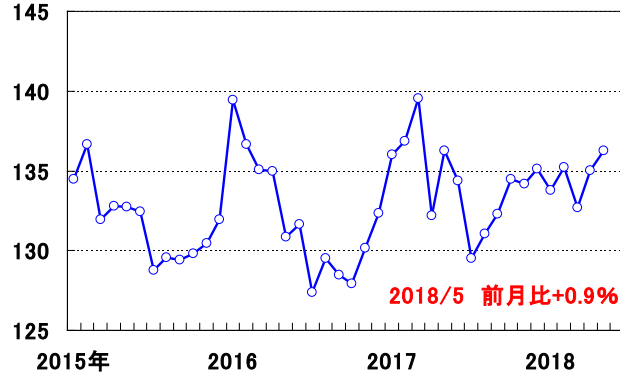
季調済
2000年=100

個人消費指数



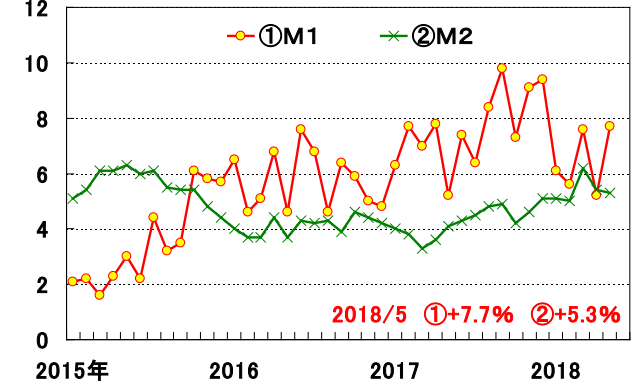
季調済
2010年=100

民間投資指数



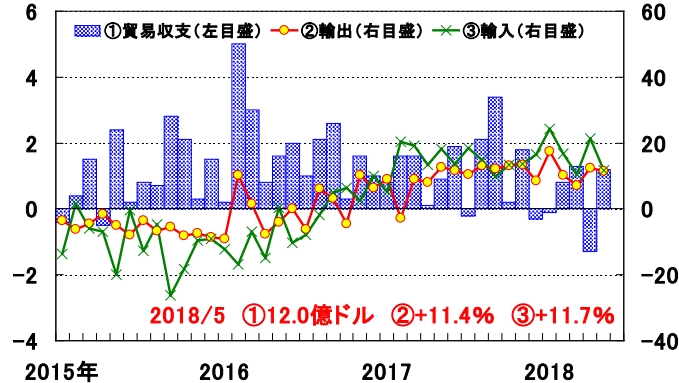
前年比、%

マネーサプライ



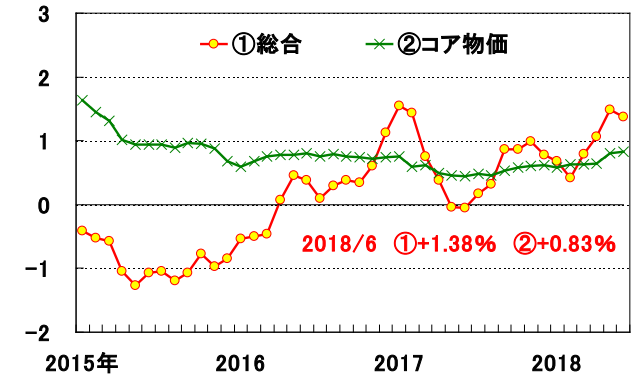
10億ドル

貿易収支



前年比、%

消費者物価指数



(出所) タイ工業省、タイ中央銀行、タイ国家統計局、タイ工業連盟 (FTI)

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用にはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。